

インフルエンザ(2026 年第 35 週)疫学情報

《コメント》

2026 年第 35 週の定点当たり報告数は 1.76(患者報告数 6,543)となり、前週の定点当たり報告数 1.11 よりも増加した。都道府県別では沖縄県(8.50)、岩手県(4.33)、新潟県(3.58)、神奈川県(2.99)、青森県(2.88)、東京都(2.65)、埼玉県(2.58)、千葉県(2.51)、宮城県(2.44)、鹿児島県(2.32)、京都府(2.26)、茨城県(2.10)の順となった。全国 47 都道府県中、39 都道府県では前週の報告数よりも増加し、7 都道府県では前週の報告数よりも減少した。基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は 213 例であり、前週(167 例)から増加した。38 都道府県から報告があり、年齢別では 1 歳未満(4 例)、1～4 歳(23 例)、5～9 歳(24 例)、10 代(10 例)、20 代(4 例)、30 代(2 例)、40 代(3 例)、50 代(14 例)、60 代(21 例)、70 代(46 例)、80 歳以上(62 例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近 5 週間(2026 年第 31 週～2026 年第 35 週)では、AH1pdm09 が 36 件(97%)、AH3 亜型が 1 件(3%)であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト([https://idw-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html](https://idw.info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html))を参照されたい。